

津久戸

令和6年6月1日

6月号 — 新宿区立津久戸小学校

グローバルコミュニケーション

校長 本間 基史

5月18日の運動会は、暑い中、保護者の皆様の協力を得ながら無事終えることができました。

児童用テントの準備、途中での教室での休憩、ミストなど事前の対応で熱中症になる児童もいなくて安心しました。5月の開催にせよ、10月の開催にせよ、この気候の変動による長時間の屋外の活動については改めて考えていきたいと思いません。児童は、高学年の仕事分担や応援団、競技への真剣な取り組み、学校全体での一体感など盛り多い行事となりました。

学校生活を送る中で大切なことは、主体的に学びに向かう力とコミュニケーション能力だと思っています。運動会での応援、励まし、協働性などは大切な要素です。また、他者理解ということでは考えると異文化を知ることや、外国の方とのコミュニケーションもこれから、子供たちが生きていく上で重要です。本校では英語の授業の他にも様々な取り組みを行っています。昨年度は5年生で英語によるタグラグビー教室を実施しました。

今年度は1学期中にウガンダで元ストリートチルドレンだったスタロン・ルゴンダさんとNGOゴスペル広場代表のジェンナさんの授業、外語専門学校生のベトナム留学生との交流授業、上智大学との連携でアメリカの高校生との交流など行っていきます。外国の文化を知り、英語など外国語に触れることで子供たちの視野が広がっていくことを期待しています。また、開校120周年記念式典に向けて、全校児童の航空写真撮影、校門のところの垂れ幕、校庭には児童の考えたスローガン「つなげ！笑顔と希望のバトン」の垂れ幕が飾られています。スローガンの垂れ幕は本校の地域協働学校運営委員会の皆様のご協力で作成することができました。運動会で使用させていただいた開校120周年記念の字が入った本部テント、スピーカー・音響システムはPTAから寄贈していただきました。感謝申し上げます。「つなげ！笑顔と希望のバトン」のスローガンは歴史ある津久戸小学校で、自分たちもバトンを繋いでいくんだという自覚からの言葉だと思います。引き続き、式典に向けてご協力よろしく申し上げます。

運動会を終えて

体育主任

5月18日に運動会を開催しました。保護者の皆様におかれましては、暑い中、学校まで足を運んでいただき、そして、熱い声援を児童に送っていただきありがとうございました。今年度は、久しぶりに保護者の入れ替えを行わない形での参観となりました。例年よりも多くの人達の応援を受けながら、子供たちは「勝利」を目指して全力で頑張りました。今年度は、スローガンに「全力で自分を超えろ 120 (イチニオー)！」とあるように、開校120周年の記念運動会でした。校舎の窓には各クラスの代表つくっぴーが飾られたり、プール上には横断幕が張られたりと、津久戸らしさをより感じる運動会でした。

新年度の幕開けから、1か月余りでしたが、この日のために子供たちは必死に練習を重ね、気温が高くなるにつれて、子供たちのボルテージもぐんぐん上がっていきました。早朝の応援団のかけ声から始まり、授業中は校庭から友達を励ます声が聞こえ、放課後には作戦会議をしながら下校する子もいて、学校は運動会ムード一色になっていました。

勝負ごとなので、最終的には勝敗がついてしまいます。勝った子の喜びに満ちた笑顔、敗れた子の悔しさを噛みしめる顔、それぞれが「全力」を出したからこそその表情です。そして、最後には口々に「全力でやって楽しかった」という言葉が聞こえてきます。勝敗を受け入れ、自分と相手を讃えることができる。その姿こそが本当の「津久戸らしさ」だなと感じました。

この日を迎えるにあたり、高学年は種目以外に係活動など活躍する場がたくさんありました。この運動会をしっかりと支え、盛り上げてくれた5・6年生に大きな拍手を送りたいです。

また、運動会のスムーズな運営のために、様々な仕事を担当してくださったPTA役員の皆様、本当にありがとうございました。

給食室より

栄養士

「食」という漢字をよく見ると「人を良くする」とも読むことができます。日本は豊かな国でありながら、朝食欠食や食習慣の乱れ、アンバランスな栄養摂取などによって健康を損なってしまうことや、「孤食」など、食卓での他者とのふれあいの薄れによる心の面への影響を指摘する人もいます。

こうした中で、食育は、子供たちが食に関する正しい知識と自己管理能力を身につけ、生涯にわたって心豊かで健康に暮らしていくためにも重要です。本校でも給食を活用した指導や教科と関連付けた食に関する指導を実施し、食育を進めています。

6月は「食育月間」です。ぜひ家族そろって食卓を囲み、食材や食文化、マナー等様々な「食べること」について考える機会にしてみたいかがでしょうか。



【学年の窓から・・・2年生】

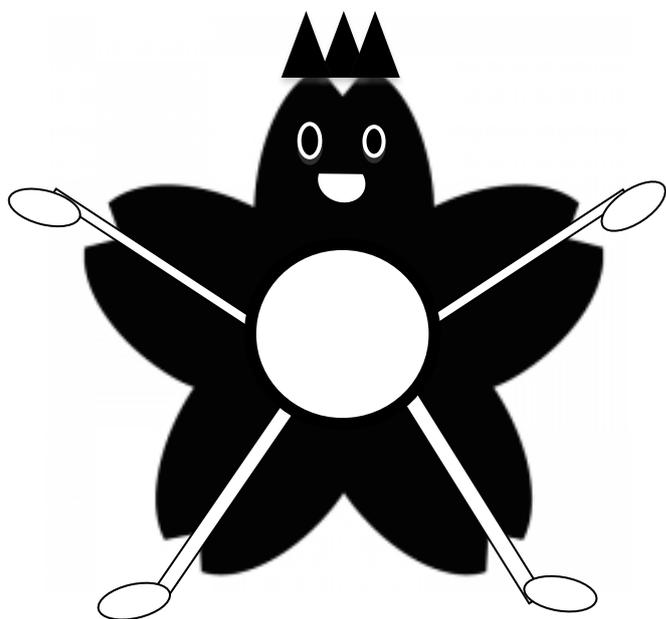
1組担任

1つお兄さん・お姉さんになった2年生。1年生に「かっこいい。」と言われる2年生になるには、どんなことをがんばればいいのか、話し合いました。まずは自分たちがお手本になれるような行動をがんばる、その上で、1年生にいろいろなことを教えてあげよう、という話し合いになりました。同じ階にいる1年生を意識しながら、廊下を歩いたり、学習したりしています。

学校案内の計画では、「1年生にとって必要な場所へ行った方がいい。」「自分たちが必要と思う場所だけでなく、1年生の行きたい場所も入れてあげよう。」「地図を見せてあげれば、1年生も選びやすいのではないか。」など、1年生の立場に立って意見を出し合う姿に感心しました。当日は、1年生を優しくエスコートする姿が見られ、ほほえましく思いました。これからも様々な面で成長できるように、活動を考えていきます。

2組担任

運動会から気温もぐんぐん上がり、初夏の熱気を感じる今日この頃です。2年生は植木鉢に苗を植え、ミニトマト、ナス、キュウリ、ピーマンの4種の夏野菜を育てています。国語の時間に「たんぼぼの知恵」についての文章を読み、綿毛のしくみについて知りました。自分たちが育てている野菜にはどのような知恵があるのか、本での調査と実物の観察を通して探っている最中です。毎日3回の水やりは欠かせませんが、「私たちもこんなに暑いから、野菜もきっと暑いよね」と最近はいっそう丁寧に水やりをしています。みんな葉っぱをみただけでどの野菜か当てられるようになったのには私も驚きました。キュウリの黄色い花は早めに咲いたので、観察カードでかわいらしい花の絵を描いた子どもたくさんいます。収穫までもう一息、愛情のたくさん込められたおいしい野菜が実るように応援しています。



6月の生活目標

『きまりよい生活をしよう』

- ・廊下を静かに歩こう。
- ・雨の日の過ごし方を考えよう。
- ・名札をきちんとつけよう。
- ・ハンカチを用意しよう。



梅雨の季節が到来しました。梅雨の時期は、蒸し暑い日もあれば、肌寒い日もあり、衣服の調節が重要となってきます。一日を快適に過ごせるよう、ご家庭でも、水分や汗拭きタオル、上着の持参など、その日の天候に合わせた持ち物のお声掛けをお願いいたします。

(生活指導部)